

第 52 回「秋田県内企業の景気動向調査」結果
(2024 年 5 月調査)

～ 景況感は 3 期ぶりに小幅な改善。先行きは悪化の見通し ～

【 調査の要旨 】

- **県内企業の業況**は、自社の業況判断を示す「自社の業況D I 値（前年同期比）」が▲8.0（前回調査比 0.2 ポイント上昇）と 3 期ぶりに小幅な改善となった。「各種D I 値（前年同期比）」では、「売上高」「営業利益」が 2 期ぶりで悪化したほか、「資金繰り」が 2 期連続の悪化となった。また、「人員人手」はプラス幅が縮小した。
- **業種別**に「自社の業況D I 値（前年同期比）」をみると、建設業と卸小売業では 2 期ぶりの悪化となった一方、製造業では 2 期ぶりの改善となったほか、サービス業でも 4 期ぶりの改善となった。
- **地域別**に「自社の業況D I 値（前年同期比）」をみると、県北が▲10.0（前回調査比 1.9 ポイント下落）、中央が 6.6（同 10.8 ポイント下落）とともに悪化した一方、県南は▲9.3（同 20.0 ポイント上昇）と大幅な改善となった。
- **先行き**見通しは、「自社の業況D I 値（前年同期比）」が▲14.7（今回調査比 6.7 ポイント下落）と悪化が見込まれている。

【 特別調査 】

- **夏季ボーナスの支給動向**について尋ねたところ、回答企業（339 社）の 63.7%が「支給する」と回答した。この割合は、前年調査（63.7%）と同率となった。一方、「支給しない」と回答した企業の割合は 10.6%で、前年調査（12.6%）から 2.0 ポイント減少した。
- **春季以降の賃金改定動向**について春季以降の賃金改定動向についてうかがったところ、全業種では「賃上げを実施する（した）」と回答した企業は 61.3%となり、前年調査（56.4%）から 4.9 ポイント上昇した

2024 年 5 月

株式会社フィデア情報総研

目次

I. 県内企業の業況	3
1. 概況	3
2. 業種別の動向	4
(1) 業種別の概況	4
(2) 業種別 D I 値の動向	5
① 建設業	5
② 製造業	6
③ 卸・小売業	7
④ サービス業	8
3. 地域別の動向	9
(1) 地域別の概況	9
(2) 地域別 D I 値の動向	10
① 県北	10
② 中央	11
③ 県南	12
II. 景気の天気予報図	13
III. 特別調査	14
1. 夏季ボーナスの支給動向について	14
(1) 支給予定動向	14
(2) 支給予定額について	16
2. 春季以降の賃金改定動向について	18
<参考資料 I : 業種別・地域別回答率>	19
<参考資料 II : 調査の概要>	19

I. 県内企業の業況

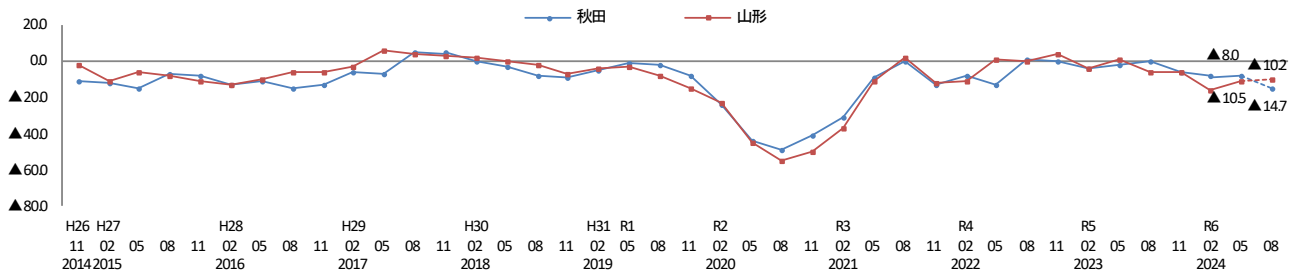
1. 概況

～ 景況感は 3 期ぶりに小幅な改善。先行きは悪化の見通し ～

県内企業の業況は、自社の業況判断を示す「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲8.0（前回調査比 0.2 ポイント上昇）と 3 期ぶりに小幅な改善となった。「各種 D I 値（前年同期比）」では、「売上高」「営業利益」が 2 期ぶりで悪化したほか、「資金繰り」が 2 期連続の悪化となった。また、「人員人手」はプラス幅が縮小した。

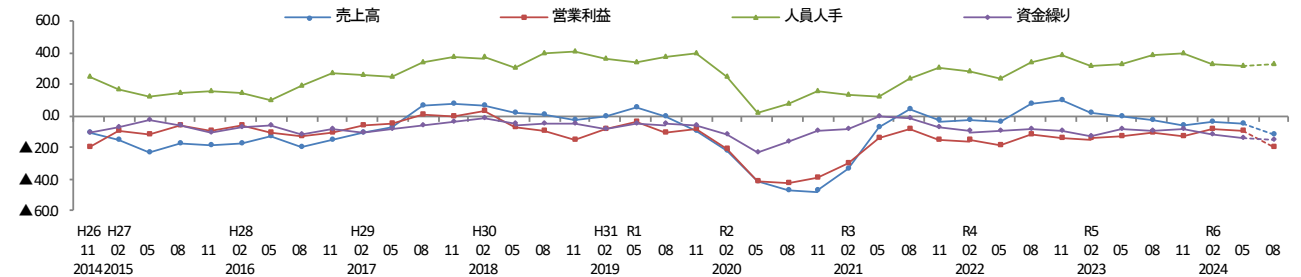
先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲14.7（今回調査比 6.7 ポイント下落）と悪化が見込まれている。

図表 1 全業種「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

図表 2 全業種「各種 D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

前年同期比の自社業況 D I 値

全業種 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
	前回調査比	前回調査予測					
2023.05 (n=342)	▲ 2.0	2.0	▲ 24.1	▲ 0.3	▲ 13.1	32.4	▲ 8.8
2023.08 (n=343)	▲ 0.3	1.7	▲ 9.4	▲ 2.1	▲ 10.2	38.5	▲ 9.3
2023.11 (n=327)	▲ 6.1	▲ 5.8	▲ 5.8	▲ 6.1	▲ 12.9	39.8	▲ 8.8
2024.02 (n=329)	▲ 8.2	▲ 2.1	▲ 6.1	▲ 3.3	▲ 8.2	32.8	▲ 11.6
2024.05 (n=339)	▲ 8.0	(0.2)	▲ 19.2	▲ 4.7	▲ 9.2	31.5	▲ 14.1
前回調査比	-	-	-	(▲ 1.4)	(▲ 1.0)	(▲ 1.3)	(▲ 2.5)
先行き見通し	▲ 14.7	-	-	▲ 11.5	▲ 20.1	33.4	▲ 15.6
今回調査比	(▲ 6.7)	-	-	(▲ 6.8)	(▲ 10.9)	(1.9)	(▲ 1.5)

※ 「売上高」D I 値は、建設業の「完成工事高」を含んだ値。

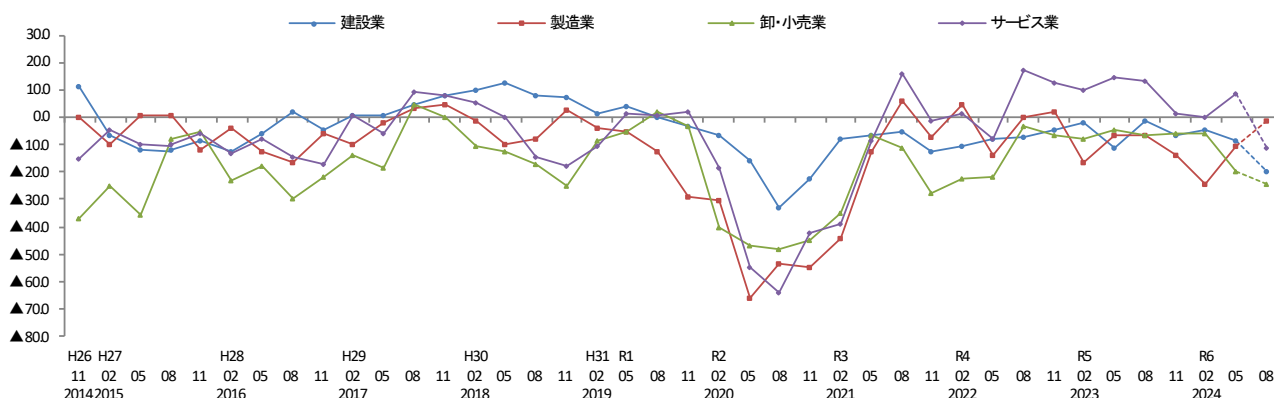
2. 業種別の動向

(1) 業種別の概況

業種別に「自社の業況 D I 値（前年同期比）」をみると、建設業と卸・小売業では 2 期ぶりの悪化となった一方、製造業では 2 期ぶりの改善となったほか、サービス業でも 4 期ぶりの改善となった。

業況の先行き見通しは、製造業では改善が見込まれる一方、その他の 3 業種ではいずれも悪化の見通しとなっている。

図表 3 業種別「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

前年同期比の自社業況 D I 値

業種別 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）				
	全業種	建設	製造	卸・小売	サービス
2023.05 (n=342)	▲ 2.0	▲ 10.9	▲ 6.5	▲ 4.5	14.6
2023.08 (n=343)	▲ 0.3	▲ 1.1	▲ 6.5	▲ 6.5	13.5
2023.11 (n=327)	▲ 6.1	▲ 6.4	▲ 13.5	▲ 6.2	1.3
2024.02 (n=329)	▲ 8.2	▲ 4.3	▲ 24.3	▲ 5.9	0.0
2024.05 (n=339)	▲ 8.0	▲ 8.7	▲ 10.6	▲ 19.8	8.6
前回調査比	(0.2)	(▲ 4.4)	(13.7)	(▲ 13.9)	(8.6)
先行き見通し	▲ 14.7	▲ 19.6	▲ 1.3	▲ 24.2	▲ 11.1
今回調査比	(▲ 6.7)	(▲ 10.9)	(9.3)	(▲ 4.4)	(▲ 19.7)

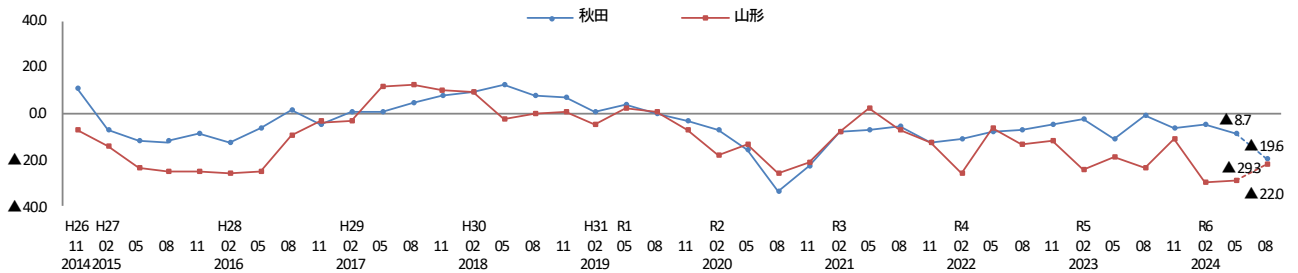
(2) 業種別DI値の動向

① 建設業

「自社の業況DI値（前年同期比）」は▲8.7（前回調査比4.4ポイント下落）と2期ぶりの悪化となった。「各種DI値（前年同期比）」では、「営業利益」「資金繰り」が悪化した一方、「完成工事高」「手持工事高」はともに改善となった。また、「人員人手」は2期連続でプラス幅が縮小した。各社のコメントからみると、資材価格や外注費の高止まりなどが続いて業績を下押ししている状況や高齢化や人手不足による先行き懸念を上げるコメントが多く見られた。

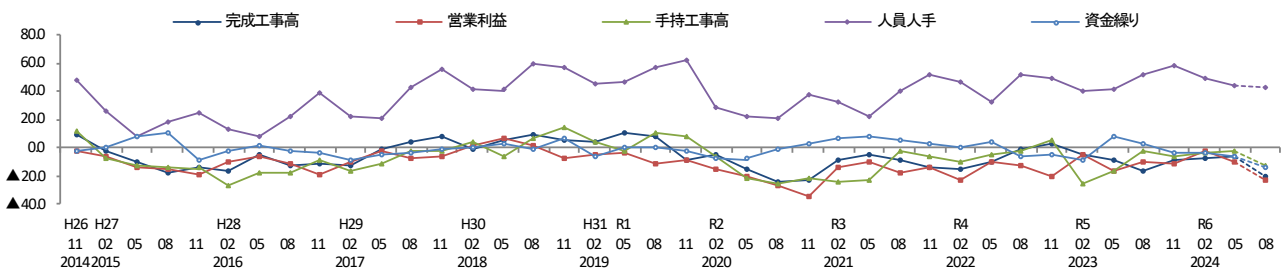
先行き見通しは、「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲19.6（今回調査比10.9ポイント下落）と悪化が見込まれている。

図表 4 建設業「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



見通し

図表 5 建設業「各種DI値（前年同期比）」の推移



見通し

前年同期比の自社業況DI値

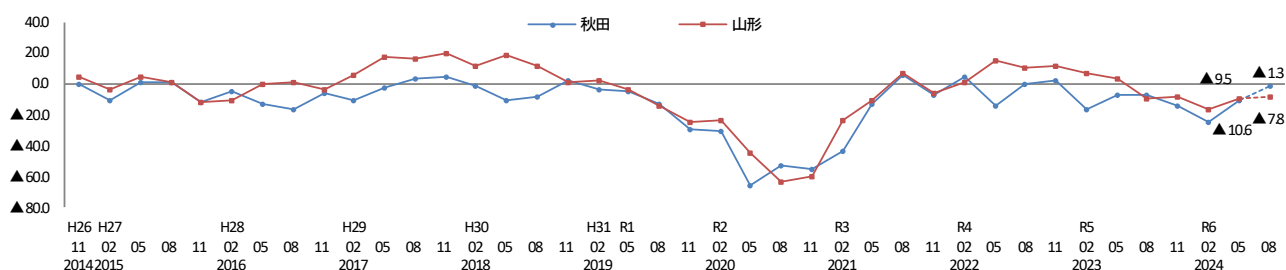
建設業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			完成 工事高	営業 利益	手持 工事高	人員 人手	資金 繰り
	前回調査比	前回調査予測						
2023.05 (n=92)	▲ 10.9	▲ 8.8	▲ 26.6	▲ 8.7	▲ 16.3	▲ 16.3	41.4	7.6
2023.08 (n=93)	▲ 1.1	9.8	▲ 8.7	▲ 17.2	▲ 9.7	▲ 2.1	51.6	2.2
2023.11 (n=95)	▲ 6.4	▲ 5.3	▲ 2.1	▲ 9.5	▲ 11.6	▲ 6.3	57.9	▲ 4.2
2024.02 (n=94)	▲ 4.3	2.1	▲ 5.2	▲ 7.4	▲ 2.2	▲ 3.2	50.0	▲ 4.3
2024.05 (n=92)	▲ 8.7	(▲ 4.4)	▲ 14.9	▲ 6.6	▲ 9.8	▲ 2.2	44.6	▲ 6.5
前回調査比	-	-	-	(0.8)	(▲ 7.6)	(1.0)	(▲ 5.4)	(▲ 2.2)
先行き見通し	▲ 19.6	-	-	▲ 20.7	▲ 22.8	▲ 13.0	42.4	▲ 14.1
今回調査比	(▲ 10.9)	-	-	(▲ 14.1)	(▲ 13.0)	(▲ 10.8)	(▲ 2.2)	(▲ 7.6)

② 製造業

「自社の業況D I 値（前年同期比）」は▲10.6（前回調査比 13.7 ポイント上昇）と3期ぶりの改善となった。「各種D I 値（前年同期比）」では、「在庫状況」「資金繰り」が2期ぶりで悪化した一方、「売上高」「営業利益」「仕入価格」はいずれも改善となった。また、「人員人手」は2期ぶりにプラス幅が拡大した。各社のコメントからみると、円安による原材料費や燃料費の上昇の影響を挙げるコメントが引き続き多く寄せられた。

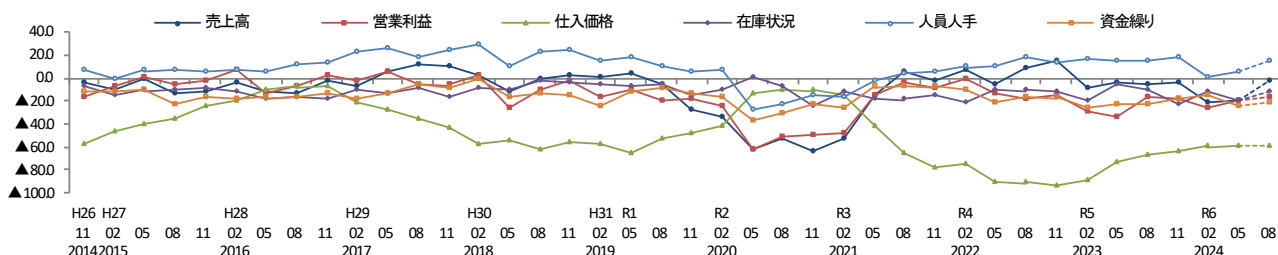
業況の先行き見通しは、「自社の業況D I 値（前年同期比）」が▲1.3（今回調査比 9.3 ポイント上昇）と改善が見込まれている。

図表 6 製造業「自社業況D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

図表 7 製造業「各種D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

前年同期比の自社業況D I 値

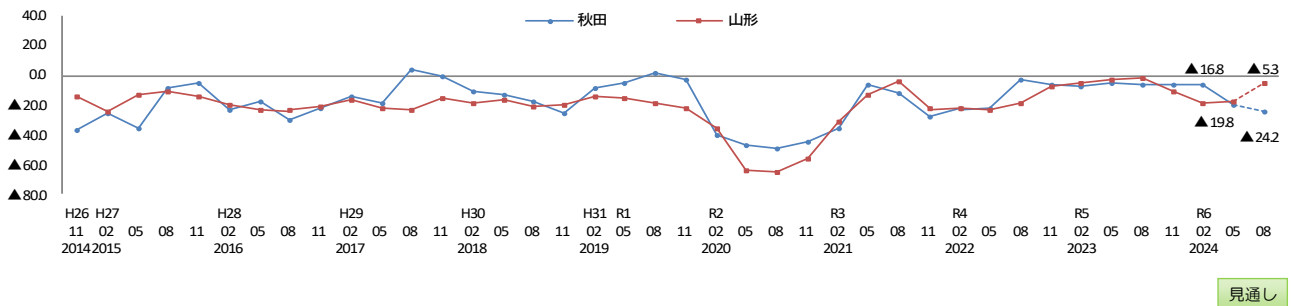
製造業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測							
2023.05 (n=78)	▲ 6.5	9.9	▲ 24.0	▲ 3.9	▲ 33.3	▲ 73.1	▲ 5.2	15.3	▲ 23.1
2023.08 (n=77)	▲ 6.5	0.0	▲ 14.1	▲ 5.2	▲ 16.9	▲ 66.2	▲ 10.4	15.6	▲ 22.1
2023.11 (n=74)	▲ 13.5	▲ 7.0	▲ 7.8	▲ 4.0	▲ 17.5	▲ 63.5	▲ 22.9	18.9	▲ 17.6
2024.02 (n=74)	▲ 24.3	▲ 10.8	▲ 8.1	▲ 20.2	▲ 25.7	▲ 59.4	▲ 10.8	1.3	▲ 14.9
2024.05 (n=75)	▲ 10.6	(13.7)	▲ 21.6	▲ 18.7	▲ 20.0	▲ 58.7	▲ 20.0	6.7	▲ 24.0
前回調査比	-	-	-	(1.5)	(5.7)	(0.7)	(▲ 9.2)	(5.4)	(▲ 9.1)
先行き見通し	▲ 1.3	-	-	▲ 2.6	▲ 16.0	▲ 58.7	▲ 12.0	16.0	▲ 21.4
今回調査比	(9.3)	-	-	(16.1)	(4.0)	(0.0)	(8.0)	(9.3)	(2.6)

③ 卸・小売業

「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲19.8（前回調査比 13.9 ポイント下落）と 3 期ぶりの悪化となった。「各種 D I 値（前年同期比）」では、「売上高」「営業利益」「資金繰り」がいずれも悪化した一方、「仕入価格」「在庫状況」はともに改善となった。また、「人員人手」は 2 期ぶりにプラス幅が縮小した。各社のコメントからみると、仕入れ価格の上昇や物価高による影響が依然として大きいほか、顧客の買い控えによる業績悪化を懸念するコメントも見られた。

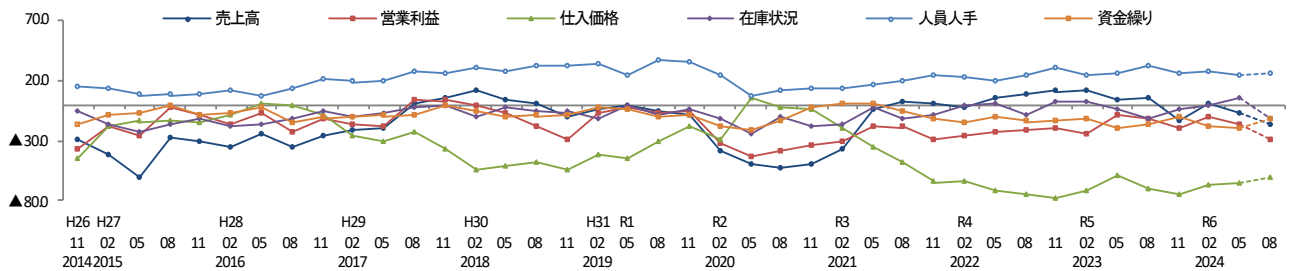
業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲24.2（今回調査比 4.4 ポイント下落）と悪化が見込まれている。

図表 8 卸・小売業「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

図表 9 卸・小売業「各種 D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

前年同期比の自社業況 D I 値

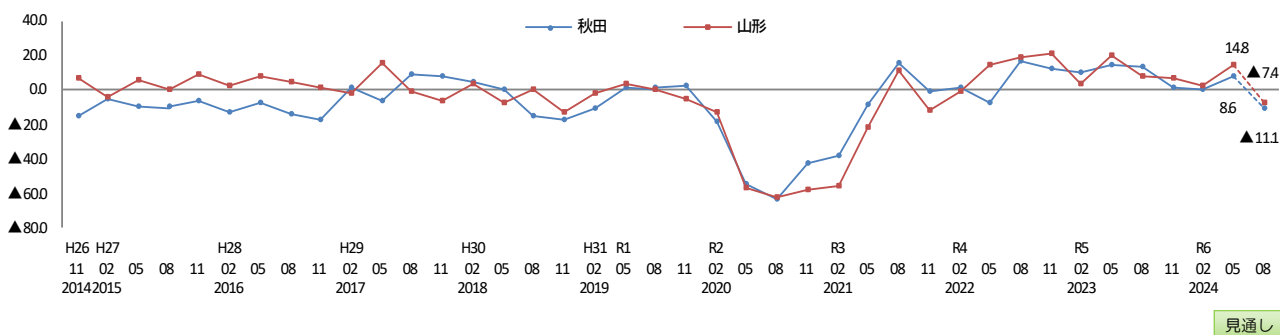
卸・小売業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測							
2023.05 (n=90)	▲ 4.5	3.1	▲ 26.0	4.5	▲ 7.8	▲ 58.9	▲ 3.3	25.6	▲ 20.0
2023.08 (n=92)	▲ 6.5	▲ 2.0	▲ 13.3	5.5	▲ 12.0	▲ 69.6	▲ 10.9	32.6	▲ 16.3
2023.11 (n=81)	▲ 6.2	0.3	▲ 14.1	▲ 13.5	▲ 19.7	▲ 74.0	▲ 3.7	25.9	▲ 9.9
2024.02 (n=85)	▲ 5.9	0.3	▲ 7.5	1.2	▲ 9.4	▲ 67.0	▲ 1.2	28.2	▲ 17.7
2024.05 (n=91)	▲ 19.8	(▲ 13.9)	▲ 17.6	▲ 7.7	▲ 16.5	▲ 64.8	5.5	24.2	▲ 19.8
前回調査比	-	-	-	(▲ 8.9)	(▲ 7.1)	(2.2)	(6.7)	(▲ 4.0)	(▲ 2.1)
先行き見通し	▲ 24.2	-	-	▲ 16.5	▲ 28.6	▲ 60.4	▲ 12.1	26.4	▲ 12.1
今回調査比	(▲ 4.4)	-	-	(▲ 8.8)	(▲ 12.1)	(4.4)	(▲ 17.6)	(2.2)	(7.7)

④ サービス業

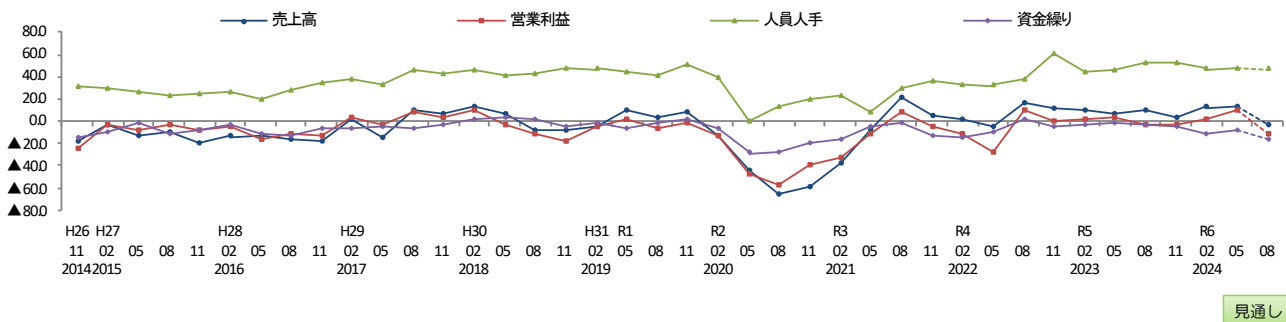
「自社の業況D I 値（前年同期比）」は8.6（前回調査比8.6ポイント上昇）と4期ぶりの改善となった。「各種D I 値（前年同期比）」でみると、「売上高」「営業利益」が2期連続の改善となったほか、「資金繰り」も2期ぶりの改善となった。また、「人員人手」はプラス幅が拡大した。各社のコメントからみると、物流業界の時間外労働の上限規制に伴う運賃値上げなどの影響や人件費上昇分の価格転嫁の難しさを挙げるコメントが多く寄せられた。

業況の先行き見通しは、「自社の業況D I 値（前年同期比）」が▲11.1（今回調査比19.7ポイント下落）と大幅な悪化が見込まれている。

図表 10 サービス業「自社業況D I 値(前年同期比)」の推移



図表 11 サービス業「各種D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況D I 値

サービス業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	人員人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測					
2023.05 (n=82)	14.6	4.5	▲ 19.0	7.3	3.6	46.3	▲ 1.2
2023.08 (n=81)	13.5	▲ 1.1	▲ 1.3	9.9	▲ 2.5	51.9	▲ 2.5
2023.11 (n=77)	1.3	▲ 12.2	1.2	3.9	▲ 2.6	51.9	▲ 5.2
2024.02 (n=76)	0.0	▲ 1.3	▲ 3.9	13.1	2.6	47.4	▲ 10.5
2024.05 (n=81)	8.6	(8.6)	▲ 23.7	13.6	9.9	48.1	▲ 7.4
前回調査比	-	-	-	(0.5)	(7.3)	(0.7)	(3.1)
先行き見通し	▲ 11.1	-	-	▲ 3.7	▲ 11.2	47.0	▲ 16.1
今回調査比	(▲ 19.7)	-	-	(▲ 17.3)	(▲ 21.1)	(▲ 1.1)	(▲ 8.7)

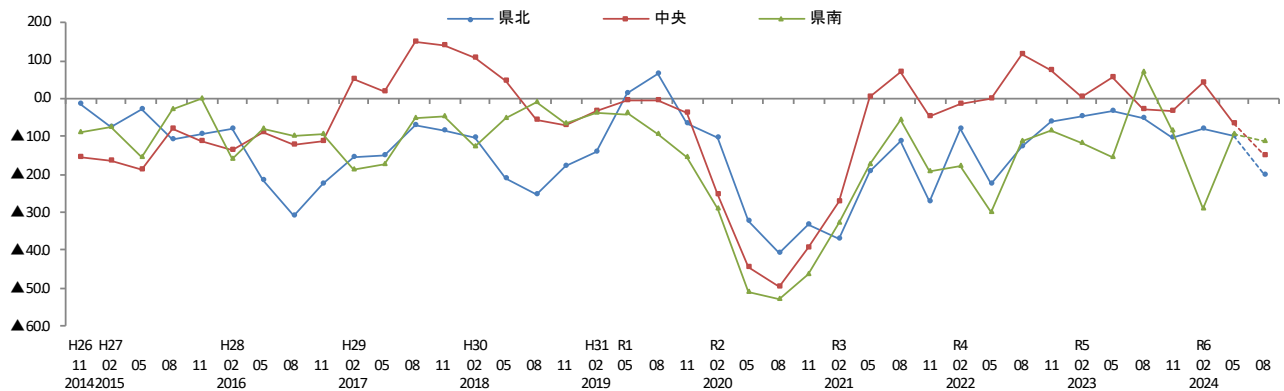
3. 地域別の動向

(1) 地域別の概況

地域別に「自社の業況DI値（前年同期比）」をみると、県北が▲10.0（前回調査比 1.9 ポイント下落）、中央が▲6.6（同 10.8 ポイント下落）とともに悪化した一方、県南は▲9.3（同 20.0 ポイント上昇）と大幅な改善となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値（前年同期比）」をみると、県北、中央、県南すべての地域で悪化が見込まれている。

図表 12 地域別「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



見通し

前年同期比の自社業況DI値

地域別 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			
	全地域	県北	中央	県南
2023.05 (n=342)	▲ 2.0	▲ 3.2	5.5	▲ 15.4
2023.08 (n=343)	▲ 0.3	▲ 5.0	▲ 2.8	6.8
2023.11 (n=327)	▲ 6.1	▲ 10.5	▲ 3.5	▲ 8.3
2024.02 (n=329)	▲ 8.2	▲ 8.1	4.2	▲ 29.3
2024.05 (n=339)	▲ 8.0	▲ 10.0	▲ 6.6	▲ 9.3
前回調査比	(0.2)	(▲ 1.9)	(▲ 10.8)	(20.0)
先行き見通し	▲ 14.7	▲ 20.0	▲ 14.8	▲ 11.3
今回調査比	(▲ 6.7)	(▲ 10.0)	(▲ 8.2)	(▲ 2.0)

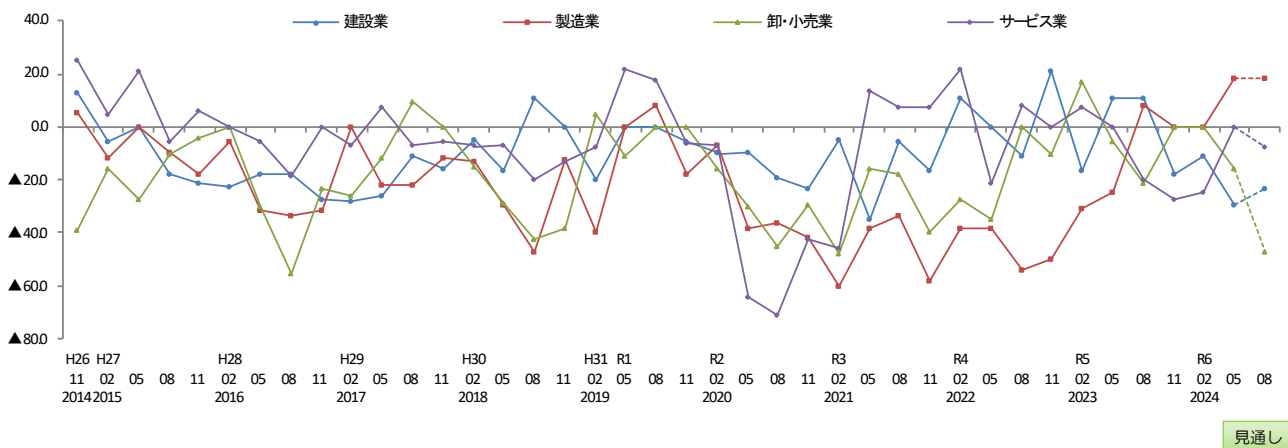
(2) 地域別 D I 値の動向

① 県北

「自社の業況 D I 値 (前年同期比)」は▲10.0 (前回調査比 1.9 ポイント下落) と 2 期ぶりの悪化となった。業種別では、サービス業が大幅に改善したほか、製造業でも改善となった一方、建設業と卸・小売業では悪化となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値 (前年同期比)」が▲20.0 (今回調査比 10.0 ポイント下落) と悪化が見込まれている。業種別では、卸・小売業で大幅な悪化が見込まれるほか、サービス業でも悪化が見込まれる一方、製造業では横這い、建設業では改善の見通しとなっている。

図表 13 県北業種別「自社業況 D I 値 (前年同期比)」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

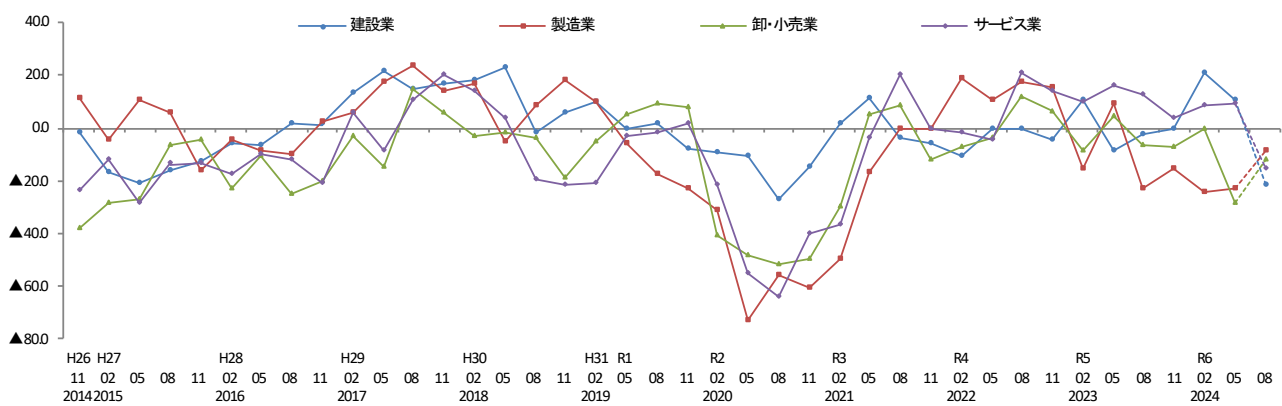
県北 調査時(サンプル数)	自社業況 (前年同期比)				
	建設	製造	卸・小売	サービス	
2023.05 (n=63)	▲ 3.2	10.5	▲ 25.0	▲ 5.3	0.0
2023.08 (n=60)	▲ 5.0	10.5	8.3	▲ 21.0	▲ 20.0
2023.11 (n=57)	▲ 10.5	▲ 17.6	0.0	0.0	▲ 27.3
2024.02 (n=61)	▲ 8.1	▲ 11.1	0.0	0.0	▲ 25.0
2024.05 (n=60)	▲ 10.0	▲ 29.4	18.2	▲ 15.7	0.0
前回調査比	(▲ 1.9)	(▲ 18.3)	(18.2)	(▲ 15.7)	(25.0)
先行き見通し	▲ 20.0	▲ 23.6	18.2	▲ 47.3	▲ 7.7
今回調査比	(▲ 10.0)	(5.8)	(0.0)	(▲ 31.6)	(▲ 7.7)

② 中央

「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲6.6（前回調査比 10.8 ポイント下落）と 2 期ぶりの悪化となった。業種別では、卸・小売業が大幅な悪化となったほか、建設業でも悪化となった一方、製造業とサービス業ではともに小幅な改善となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲14.8（今回調査比 8.2 ポイント下落）と悪化が見込まれている。業種別では、製造業と卸・小売業では改善の見通しとなった一方、建設業とサービス業では大幅な悪化の見通しとなっている。

図表 14 中央業種別「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

前年同期比の自社業況 D I 値

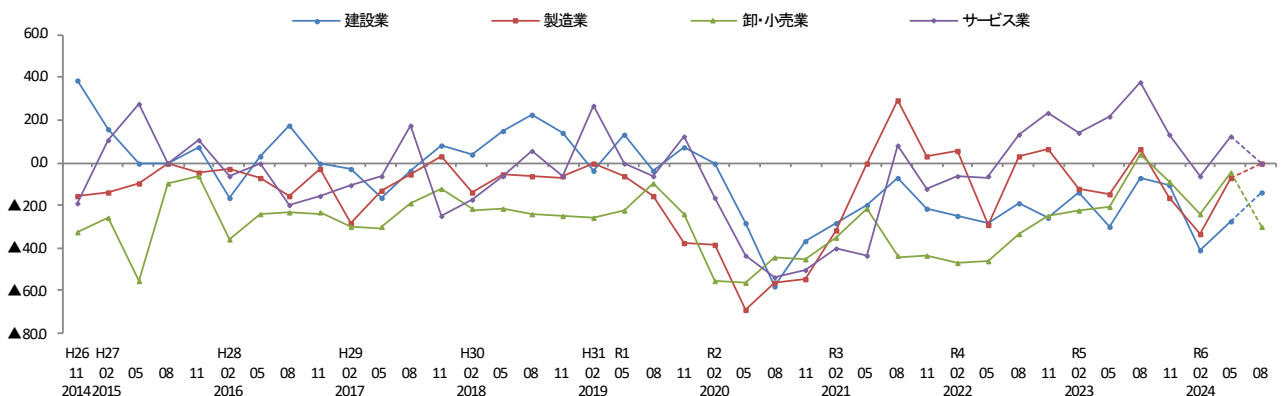
中央 調査時(サンプル数)	自社業況（前年同期比）				
	建設	製造	卸・小売	サービス	
2023.05 (n=181)	5.5	▲ 8.7	9.1	4.3	16.3
2023.08 (n=181)	▲ 2.8	▲ 2.2	▲ 22.9	▲ 6.6	12.7
2023.11 (n=174)	▲ 3.5	0.0	▲ 15.6	▲ 7.3	4.0
2024.02 (n=169)	4.2	21.3	▲ 24.1	0.0	8.4
2024.05 (n=182)	▲ 6.6	10.9	▲ 22.9	▲ 28.6	9.6
前回調査比	(▲ 10.8)	(▲ 10.4)	(1.2)	(▲ 28.6)	(1.2)
先行き見通し	▲ 14.8	▲ 21.8	▲ 8.6	▲ 12.2	▲ 15.4
今回調査比	(▲ 8.2)	(▲ 32.7)	(14.3)	(16.4)	(▲ 25.0)

③ 県南

「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲9.3（前回調査比 20.0 ポイント上昇）と 2 期ぶりの改善となった。業種別にみると、製造業で大幅な改善となったほか、他の 3 業種でも改善となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲11.3（今回調査比 2.0 ポイント下落）と小幅な悪化が見込まれている。業種別では、卸・小売業では大幅な悪化の見通しとなっておりサービス業でも悪化が見込まれている一方、建設業と製造業では改善の見通しとなっている。

図表 15 県南業種別「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移

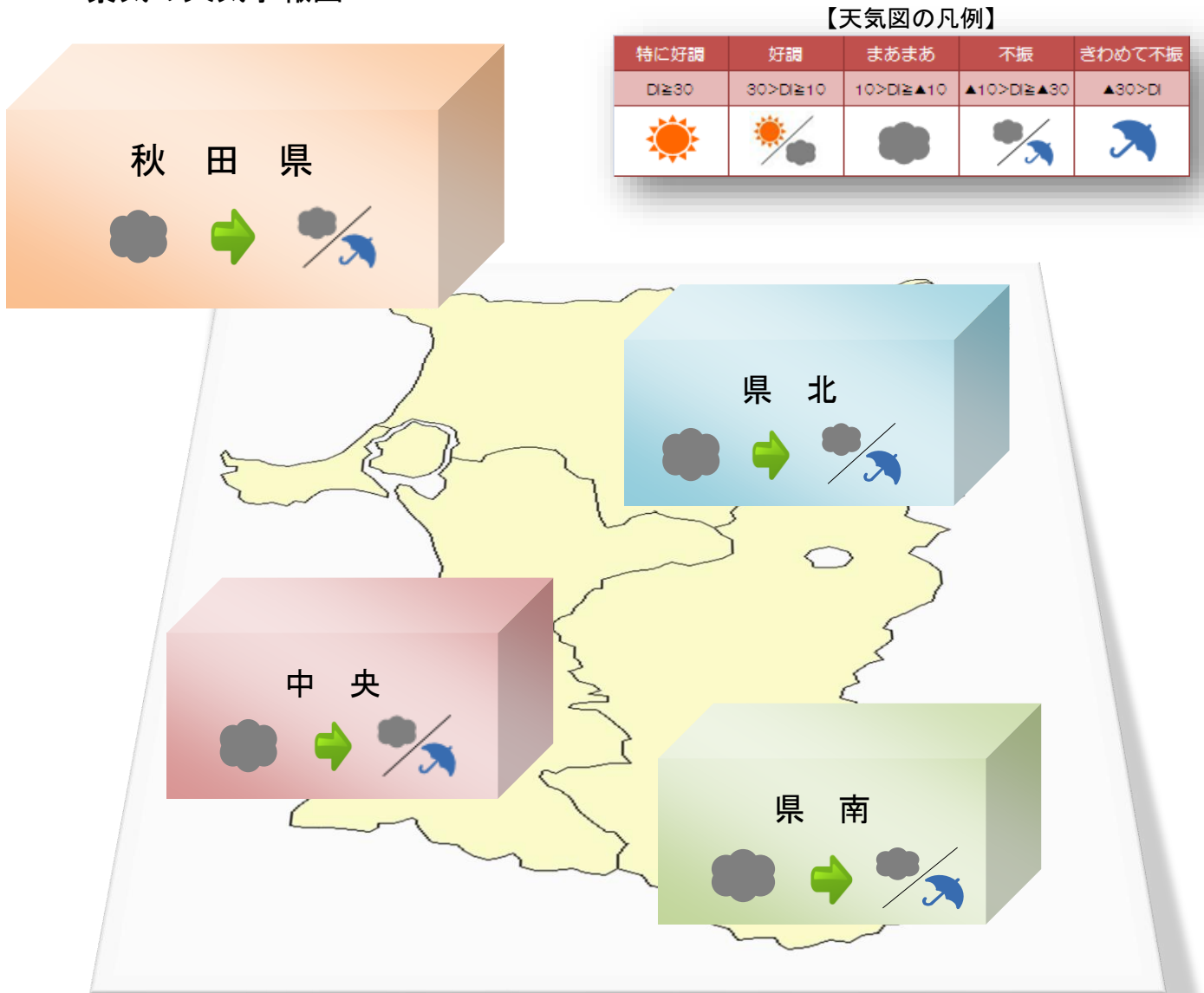


見通し

前年同期比の自社業況 D I 値

県南 調査時(サンプル数)	自社業況（前年同期比）				
	建設	製造	卸・小売	サービス	
2023.05 (n=98)	▲ 15.4	▲ 29.6	▲ 15.1	▲ 20.8	21.4
2023.08 (n=102)	6.8	▲ 7.1	6.6	3.6	37.5
2023.11 (n=96)	▲ 8.3	▲ 10.8	▲ 16.7	▲ 8.7	13.4
2024.02 (n=99)	▲ 29.3	▲ 41.4	▲ 33.3	▲ 23.8	▲ 6.2
2024.05 (n=97)	▲ 9.3	▲ 27.6	▲ 6.9	▲ 4.4	12.5
前回調査比	(20.0)	(13.8)	(26.4)	(19.4)	(18.7)
先行き見通し	▲ 11.3	▲ 13.8	0.0	▲ 30.4	0.0
今回調査比	(▲ 2.0)	(13.8)	(6.9)	(▲ 26.0)	(▲ 12.5)

Ⅱ. 景気の天気予報図



今期の概況

	秋田県	県北	中央	県南
全業種				
建設				
製造				
卸・小売				
サービス				

来期の見通し

	秋田県	県北	中央	県南
全業種				
建設				
製造				
卸・小売				
サービス				



Ⅲ. 特別調査

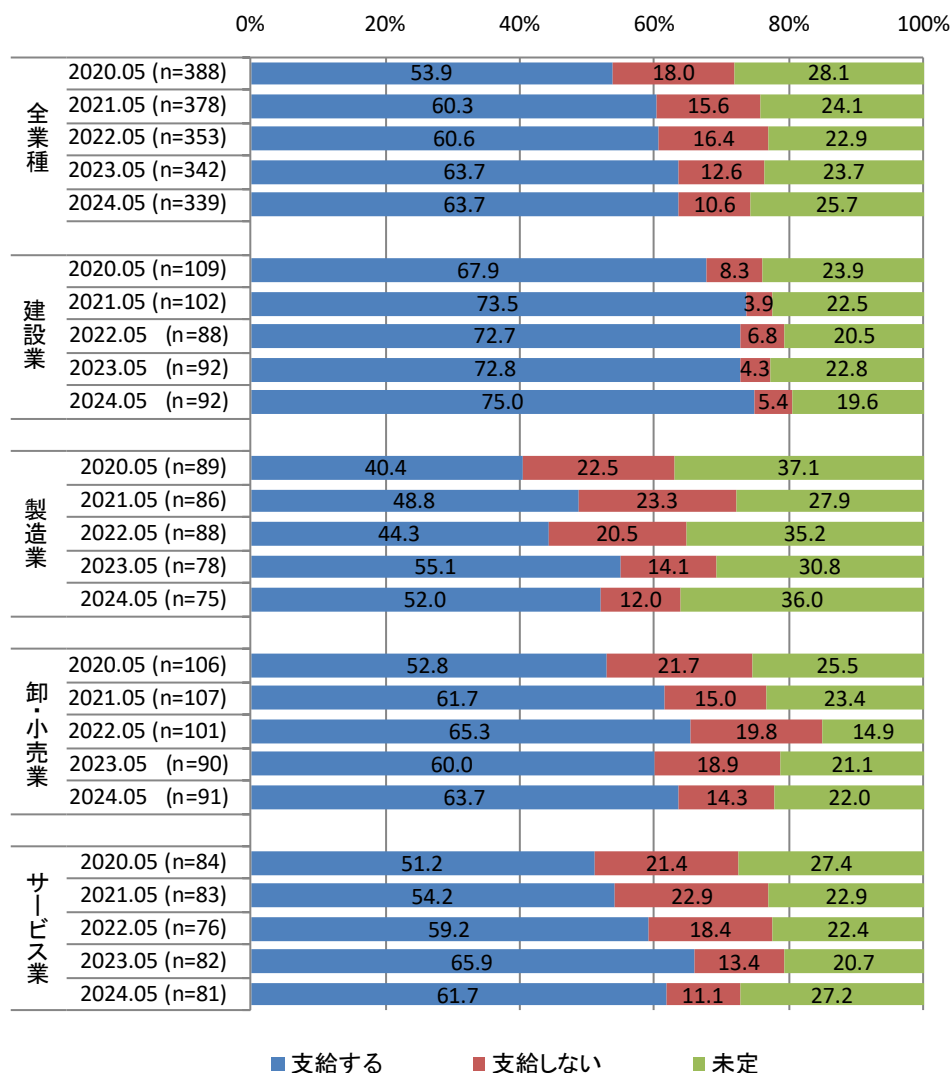
1. 夏季ボーナスの支給動向について

(1) 支給予定動向

夏季ボーナスの支給動向（予定）について尋ねたところ、回答企業（339 社）の 63.7%が「支給する」と回答した。この割合は、前年調査（63.7%）と同率となった。一方、「支給しない」と回答した企業の割合は 10.6%で、前年調査（12.6%）から 2.0 ポイント減少した。

業種別にみると、「支給する」と回答した企業の割合は建設業が 75.0%で引き続き最も高く、次いで卸・小売業（63.7%）、サービス業（61.7%）、製造業（52.0%）が続き、この割合は製造業とサービス業で低下した一方、建設業と卸・小売業では上昇となった。

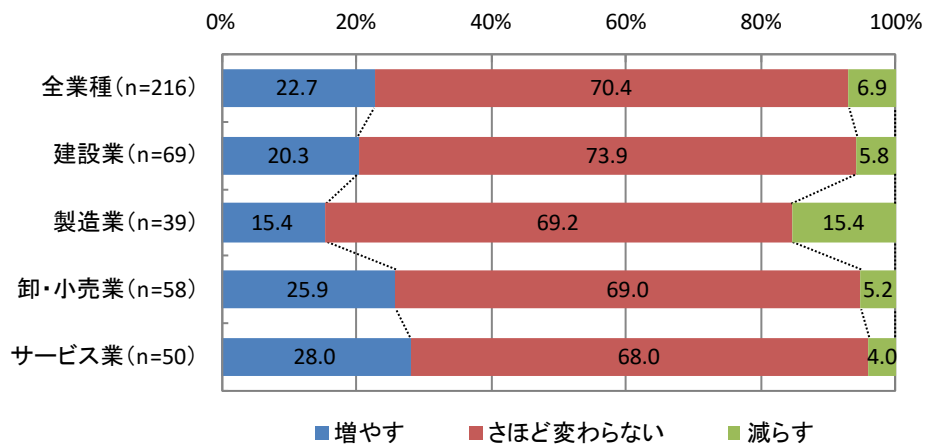
図表 16 業種別「夏季ボーナスの支給動向」



また、今季「支給する」と回答した企業に対し、昨年夏季と比べて支給額を増やすかどうか尋ねたところ、全業種では「さほど変わらない」と回答した企業が 70.4%で最も多く、これに「増やす」とした企業が 22.7%と 2 割台で続いている。

業種別にみると、「増やす」と回答した企業の割合はサービス業の 28.0%が最も高く、最も低いのは製造業の 15.4%であった。一方、「減らす」と回答した企業の割合は、製造業で 15.4%と最も高く、サービス業は 4.0%で最も低かった。製造業では「増やす」の割合と「減らす」の割合が同率であったが、その他の 3 業種では「増やす」の割合が「減らす」の割合をいずれも上回っている。

図表 17 業種別 夏季ボーナスを“支給する”企業の方針（昨年夏季比）

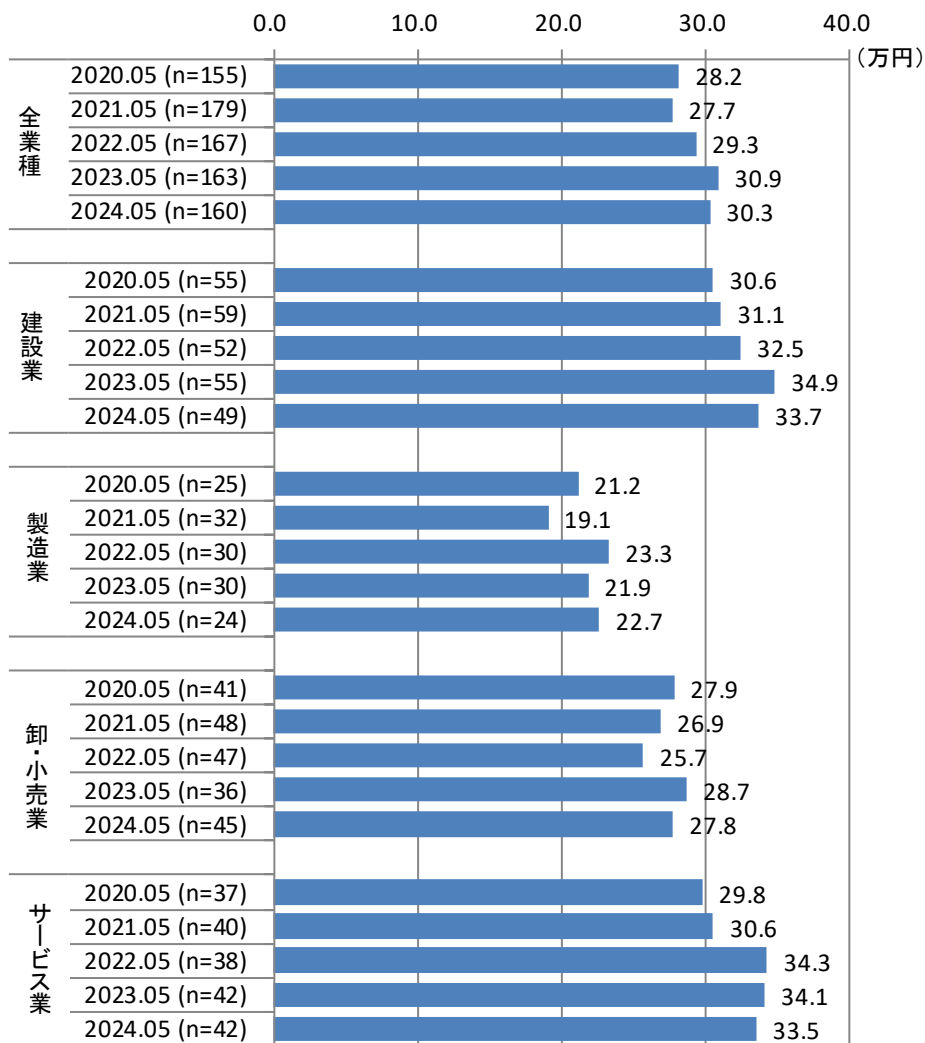


(2) 支給予定額について

夏季ボーナスの支給予定額について尋ねたところ、全業種平均（160 社）で 30.3 万円となり、前年調査に比べて 0.6 万円減少の見込みとなった。

業種別の平均支給予定額をみると、製造業では増加が見込まれている一方、その他の 3 業種では減少の見込みとなっている。

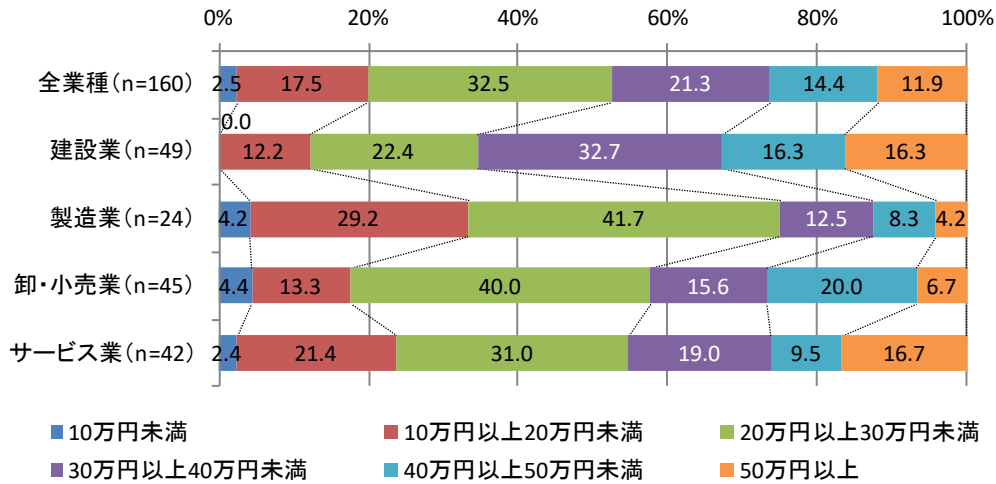
図表 18 業種別「夏季ボーナスの平均支給額」の推移



また、平均支給予定額の分布をみると、全業種では「20 万円以上 30 万円未満」の割合が 32.5%で最も高く、次いで「30 万円以上 40 万円未満」（21.3%）、「10 万円以上 20 万円未満」（17.5%）が続いている。

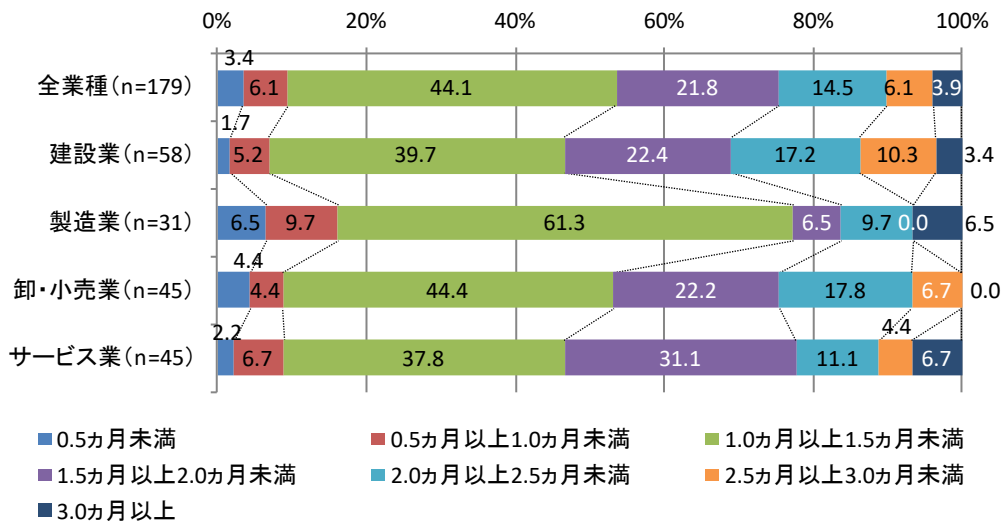
業種別にみると、建設業では「30 万円以上 40 万円未満」の割合が最も高くなっている一方、その他の 3 業種では「20 万円以上 30 万円未満」が最も高くなっている。

図表 19 業種別「夏季ボーナスの平均支給予定額」



平均支給予定月数については、全業種では「1.0 ヶ月以上 1.5 ヶ月未満」が 44.1%と最も高く、業種別にみても、製造業の 61.3%を始めとして、4 業種すべてで「1.0 ヶ月以上 1.5 ヶ月未満」が最も高い割合を示している。

図表 20 業種別「夏季ボーナスの平均支給予定月数」

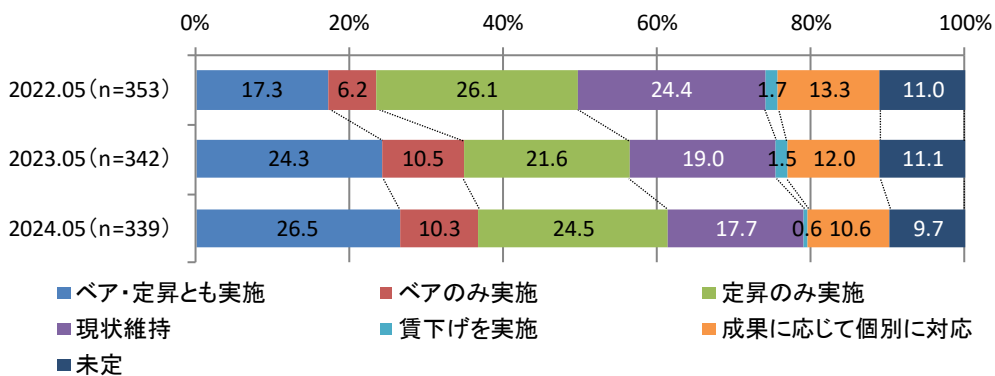


2. 春季以降の賃金改定動向について

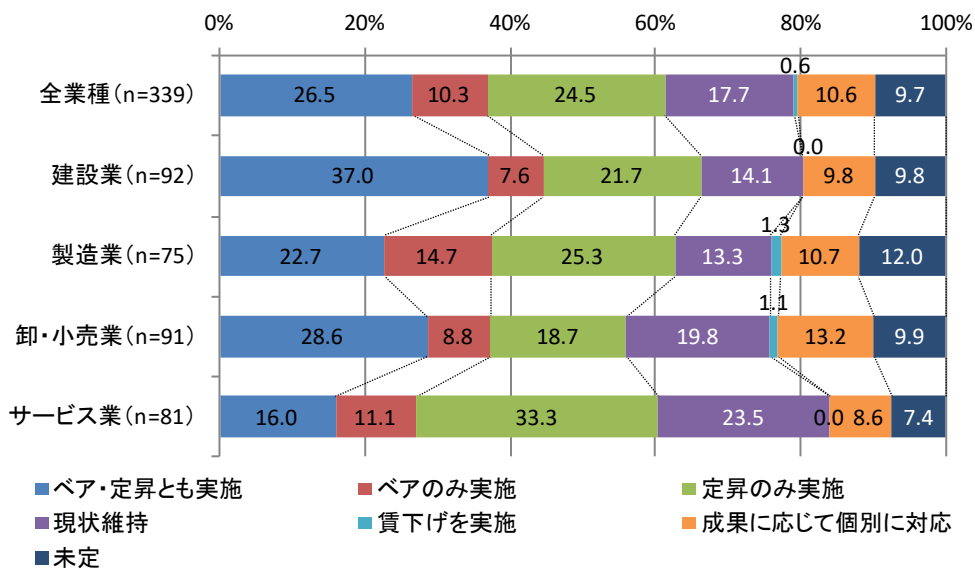
春季以降の賃金改定動向（ベースアップや定期昇給を実施する（した）か）についてうかがったところ、全業種では「ベア・定期昇給とも実施」する（した）企業は 26.5%となり、これに「ベアのみ実施」（10.3%）と「定期昇給のみ実施」（24.5%）を加えた、「賃上げを実施する（した）」と回答した企業は 61.3%となり、前年調査（56.4%）から 4.9 ポイント上昇した。

業種別にみると、「賃上げを実施する（した）」と回答した企業は建設業の 66.3%が最も高く、以下は製造業（62.7%）、サービス業（60.4%）、卸・小売業（56.1%）の順となっている。

図表 21 全業種「春季以降の賃金改定動向」の推移



図表 22 業種別「春季以降の賃金改定動向」



<参考資料Ⅰ：業種別・地域別回答率>

(サンプル数：社)

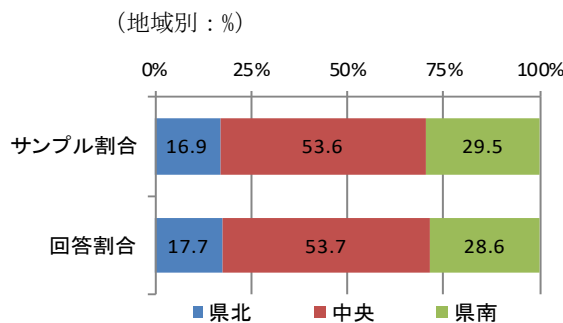
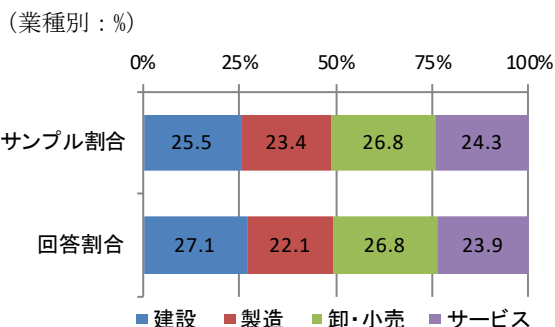
	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
県北	21	17	24	18	80
中央	64	47	66	77	254
県南	36	47	37	20	140
合計	121	111	127	115	474

(回答数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
県北	17	11	19	13	60
中央	46	35	49	52	182
県南	29	29	23	16	97
合計	92	75	91	81	339

(回答率：%)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
県北	81.0	64.7	79.2	72.2	75.0
中央	71.9	74.5	74.2	67.5	71.7
県南	80.6	61.7	62.2	80.0	69.3
合計	76.0	67.6	71.7	70.4	71.5



<参考資料Ⅱ：調査の概要>

● 調査の目的

県内に本社を置いて企業活動を営む法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、県内の景気動向について把握するために実施した。

● 調査の方法

インターネットを利用したアンケート調査（一部FAXを利用）。

● 調査期間

2024年5月1日（水）～15日（水）

● 地域区分

地域名	対象となる市町村名
県北	大館市、能代市、北秋田市、鹿角市、三種町、八峰町、小坂町、藤里町、上小阿仁村
中央	秋田市、由利本荘市、潟上市、男鹿市、にかほ市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村
県南	横手市、大仙市、湯沢市、仙北市、美郷町、羽後町、東成瀬村

● 調査の内容

アンケート調査は、各企業の業況判断について3肢択一方式を採っている。毎回必ず調査する「定例調査」と、調査時期にふさわしい経済トピックス等について調査する「特別調査」とを設けている。

項目	選択肢 (択一方式)		
自社の業況 (共通項目)	1. 良い	2. さほど変わらない	3. 悪い
業界の業況 (共通項目)	1. 良い	2. さほど変わらない	3. 悪い
売上高 (建設業を除く)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
完成工事高 (建設業)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
営業利益 (共通項目)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
人員や人手 (共通項目)	1. 足りない	2. ちょうどよい	3. 余っている
資金繰り (共通項目)	1. 楽になった	2. さほど変わらない	3. 厳しい
原材料等の仕入価格 (製造業のみ)	1. 下がった	2. さほど変わらない	3. 上がった
製(商)品の仕入価格 (卸・小売業のみ)	1. 下がった	2. さほど変わらない	3. 上がった
在庫状況 (製造業)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
手持工事高 (建設業)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った

(注) 各項目とも「前年同期比」、「前期比」、「来期の見通し」について、それぞれ3肢択一方式を採っている。

● 集計方法

各項目とも、現状判断、先行き見通しについてそれぞれD I値を算出する。D I値とは、Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、算出方法は次の通り。

例) 自社の業況D I値

$$= (\text{「1. 良い」と回答した企業の割合}) - (\text{「3. 悪い」と回答した企業の割合})$$

たとえば「自社の業況D I値」がプラスであれば、相対的に自社の業況が良いと判断した企業が多いことになる。また、業況の変化の方向(良くなっているか、悪くなっているか)についても分かる。

ちなみに、他のD I値についても同様に、選択肢「1. 」(「調査の内容」の「選択肢」欄をご参照のこと)を選んだ企業の割合から選択肢「3. 」を選んだ企業の割合を差し引いて算出する。

<お知らせ>

F S N会員専用ホームページ (<http://www.bb-town.jp/cgi-bin/fsn.cgi>) にアクセスすると、統計データの最新版をダウンロードすることができます。こちらも是非ご利用ください。なお、過去の調査レポートや統計データは当社ホームページ (<https://www.fir.co.jp/>) 「調査レポート」コーナーからダウンロードすることができます。

<お問い合わせ先>

株式会社フィデア情報総研 地域政策コンサルティング部 秋田事業所 小玉/佐藤

・ 秋田事業所

〒010-0001 秋田県秋田市中通 3-1-41 北都銀行本店内

TEL : 018-837-1727 Fax : 018-834-5508

・ 山形支社

〒990-0043 山形県山形市本町 1-4-21 荘銀山形ビル 8F

TEL : 023-626-9017 Fax : 023-626-9038 E-mail : kenkyuu@fir.co.jp

URL : <https://www.fir.co.jp/>